



民商会員 河北支部の堀米さん夫妻



山形県西村山郡

町民の要求から
高過ぎる国保税の軽減を実現!!

国の社会保障費削減の一環として、国民健康保険(国保) 財政への国費の投入が抑制され、各地の自治体で国保税・税の引き上げが続いています。物価・資材高騰で多くの中小業者は高過ぎる国保税に苦しめられています。2024年度に国保税・税を引き上げる見通しの自治体が6割を超えるという試算(日本共産党調べ)がある中、住民の切実な要求にこたえて、国保税・税の軽減に踏み出す自治体が幾つも出現しています。

山形県の中央部に位置する紅花とさくらんぼの生産で有名な人口17000人の小さな河北町で、国保税の年間1人1万4000円減を勝ち取りました。今年度から2028年度までの5年間、実施します。同町の担当地域の西村山民主商工会(民商)も、税金相談会の会場や、各支部で長年国保税引き下げの署名活動に取り組んできました。

河北町は、国保税が県内でも高い方でしたが、町民から国保税が高すぎて払えないとの声の上り、国保税引き下げの署名活動や請願活動が2014年(10年前) 活発に行われました。「年8回支払う国保税の1回分が丸々なくなるので、うれしい!」と、町民から喜びの声が上がっています。

民商会員で河北町の町議も務める木村章一さん(共産) Ⅱ(製造業)は、「10年ほど前、県内で2番目に高い

国保税を引き下げようと、町民あげでの署名に取り組んだこともありましたが、その時は、引き下げはかないままでした。今度の引き下げで、長年の町民の願いが実現した」と喜びます。同町の国保税は、今回の引き下げで、県内35市町村のうち低い方から数えて5〜6番目になる見込みです。

一貫して提案し続けてきた、4億円以上に積み上がった基金の一部を活用して国保税を減額する条例改正は、昨年12月議会で実りました。

今回の国保税引き下げは、均等割の後期高齢者支援金分(1万4000円)を免除することで実施されます。免除した後期高齢者支援金分については、国民健康保険基金を取り崩して充てます。(全国商工新聞6/3号より抜粋)

1年間で1回分の支払い分が
なくなる

民商会員の河北支部5班の堀米英生さん(51)、いづみさん(49) 夫妻 Ⅱ自動車修理業は、国保税は昨年、夫妻と母親の3人分で年間16万

6500円でした。今回の引き下げで、今年の支払額は3万1200円減額され、13万3500円になります。1年間で8回支払う国保税の1回分が丸々無くなるので、嬉しいし驚いた。父親が生きていた3年前は、両親と私たち夫婦、子ども2人の計6人分で国保税約30万円を支払っていました。「商売をしていると、お金がお客さんの都合で入金されますが、国保税や税金は定期的に支払いが求められるので、凄く苦しかった。物価・資材高騰でいいことがない世の中だけど、国保税の引き下げは嬉しいニュースです」といづみさんは喜びます。友人・知人にも知らせて広げていきたいと笑顔を浮かべています。

西村山民商では、長年に渡って署名活動や国保税の引き下げを求める請願などの要求運動を行ってきました。今回の国保税の引き下げも、町民と民商運動・共産党町議の木村章一さんの奮闘で勝ち取れたものです。この嬉しい波及が全国に広がっていくことを願っています。

山形 西村山民主商工会 事務局長
高橋 史さん